

人口減少下における地方の 創生策はいかにあるべきか

日本学術会議シンポジウム

東京二極集中是正の可能性

日時

平成 27 年 8 月 30 日(日)
13:00-16:55

会場

日本学術会議講堂

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34 TEL : 03-3403-3793 (代表)
[アクセス] 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 出口



事前予約不要／入場無料

人口減少下において様々な問題が深刻化している

地方圏の現状を把握するとともに、

農山村、都市、人口移動、雇用機会、住宅、政策・制度、

などの観点から多面的に検討し、

再生や創生に向けた方策の提言をめざす。

[主催] 日本学術会議地域研究委員会人文・経済地理学分会、地域情報分会

[後援] 地理学連携機構、日本地理学会、人文地理学会、経済地理学会、地理情報システム学会

PROGRAM

[司会 春山成子 (日本学術会議連携会員、三重大)]

13:00~ 挨拶 大西 隆 (日本学術会議会長、豊橋技術科学大学学長)

13:05~ 趣旨説明 石川義孝 (日本学術会議会 員、京都大学)

13:15~ 報告 1 井上 孝 (青山学院大学)
コーホート別社会増減の地域差からみた人口減少問題

13:35~ 報告 2 宮町良広 (日本学術会議連携会員、大分大学)
地方からの人口流出を食い止めるダム機能を探る
ーグローバルな地域再生ー

13:55~ 休憩

[司会 田中和子 (日本学術会議連携会員、京都大学)]

14:05~ 報告 3 小田切徳美 (日本学術会議会員、明治大学)
農山村再生の課題と展望

14:25~ 報告 4 松原 宏 (日本学術会議連携会員、東京大学)
「地方創生」下における地域政策の転換と課題

14:45~ 報告 5 浅見泰司 (日本学術会議連携会員、東京大学)
人口減少時代に対応した都市関連制度のパラダイム転換

15:05~ 報告 6 戸所 隆 (日本学術会議連携会員、高崎経済大学名誉教授)
中央官庁地方移転による国土構造転換・地方創生政策の必要性

15:25~ 休憩

[司会 村山祐司 (日本学術会議連携会員、筑波大学)、貴志俊彦 (日本学術会議連携会員、京都大学)]

15:40~ 全体討論

16:50~ 閉会の辞 小口 高 (日本学術会議連携会員、東京大学)